

## 令和5年第14回教育委員会会議

### 1 日 時

令和5年10月16日(月)

開会 14時00分

閉会 14時35分

### 2 場 所

県庁行政庁舎 17階 教育委員会室

### 3 出席者

北野喜樹教育長、新屋長二郎委員、新家久司委員、眞鍋知子委員、高野勝委員、浅蔵一華委員

### 4 説明のため出席した職員

吉田雅英教育次長、塩田憲司教育次長、金子俊一教育次長、山本一彦庶務課長、高倉英明教職員課長、北島公之学校指導課長、岩木智子生涯学習課長、辻江冬樹文化財課長、瀬戸博邦保健体育課長

### 5 議案件名及び採決の結果

議案第27号 令和5年度石川県優秀教職員の決定について（原案可決）

### 6 報告

報告第1号 令和5年度いしかわマスター教員の認定について

報告第2号 令和6年度石川県公立学校教員採用候補者等の選考結果について

報告第3号 いしかわ産業教育フェア2023の概要について

### 7 審議の概要

#### ・開会宣告

北野教育長が開会を告げる。

#### ・会議の公開・非公開の決定

議案第27号、報告第1号は人事に関する案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき非公開とすることを全会一致で決定。

#### ・質疑要旨

以下のとおり。

## 報告第2号 令和6年度石川県公立学校教員採用候補者等の選考結果について（高倉教職員課長説明）

それでは、報告第2号、「令和6年度石川県公立学校教員採用候補者等の選考結果について」につきまして、ご説明申し上げます。お手元の資料6ページをご覧ください。

はじめに、「1. 候補者数」にある教諭及び養護教諭についてですが、受験者総数921人の中から、採用候補者として315人を選考いたしました。

最終的な競争倍率は、昨年度より0.2ポイント減の2.9倍となりました。

採用候補者315人の内訳は、小学校が141人、中学校及び高等学校が136人、特別支援学校が28人、養護教諭が10人となっております。

中程の表をご覧ください。今年度、新たに設定した特別選考区分「大学3年生を対象にした選考」では、69人が受験をし、32人が基準に到達しました。下段の表、栄養教諭についてであります。一般選考につきましては、受験者15人の中から2人を、また、現職の学校栄養職員から任用替えを行う特別選考につきましては、受験者4人の中から4人を選考しました。

中・高等学校の教科別の状況等については、次ページをご覧ください。受験区分及び中・高等学校の教科別、特別支援学校の学部別等における、採用候補者の内訳や倍率の一覧でございます。

表への記載はございませんが、昨年度新たに設定し、今年度拡大した「大学から推薦を受けた小学校受験者を対象とした選考」においては、石川県教育委員会が指定する県内大学並びに県外大学から推薦を受けた受験者を対象として実施し、20人を採用候補者として選考しました。採用候補者における男女の割合につきましては、候補者315人のうち、男性の割合が45.4%、女性の割合が54.6%となっております。

採用候補者315人のうち、来春、大学卒業見込みのいわゆる「新卒者」は全体の57.1%の180人で、そのうち、いしかわ師範塾の受講者は139人で、約77%となりました。

また、今年度、採用時に50歳未満としていた受験年齢制限を、60歳未満に緩和したところ、50歳以上の受験者は23人、そのうち候補者は5人となりました。資料6ページにお戻りください。

「2 結果発表等」につきましては、9月27日午後3時に、採用候補者の受験番号を県教委のホームページ等で公表するとともに、全受験者あてに結果を発送したところであります。

「3 今後の予定」につきましては、採用内定者に対しては、12月から2月までに、いしかわ師範塾による採用前研修（1日は学校参観、1日は赴任にあたっての心得などの講座）を2日間にかけて実施することとしており、採用内定者が4月から自信と熱意を持って教師生活をスタートできるように取り組んで参ります。

また、栄養教諭（特別選考）の合格者については、令和6年4月1日より学校栄養職員からの任用替えとなります。以上です。

## 【質疑】

(眞鍋委員)

今年度初めて特別選考区分Ⅵを設置し、大学3年次が受験できる制度が導入され、基準到達者数が、69人中32人とのことですが、この割合というのは、4年次以降で合格した方と比べてどうでしょうか。また、この受験区分をどのように評価されているかをお聞かせ願えればと思います。

(高倉教職員課長)

3年次に受験するに関しては今年度新たに実施しましたが、今年度の合格者の平均点や最低点を勘案しながら基準点を設定しまして、その結果、32名の方が基準に達したということになっております。これは問題の難易度等の条件で変わってくると思いますので、基準については回答することができません。評価に関しましては、大学の方からも、今年度はアナウンスがギリギリだった部分もありまして、とりあえず受験してみる、という方が多かったとのことですが、来年度はさらに多くの方が受験されるのではないかと、という声を聞いております。また、受験生の方も、実際に教員採用試験を知ることができてよかったという声も聞いております。今後も続けていきたいと思っております。

(新屋委員)

受験者数は右肩下がりで、倍率も下がっていると思いますが、本県だけの特徴ではなく、国の方でも対策を練っていますが、抜本的な解決策にはなっていないと思います。採用予定者数も少しずつ減っていくのではないかとと思いますが、この先の見通しと新たな対策があれば教えてください。

(高倉教職員課長)

今ほどのお話にもありましたとおり、本県だけでなく、全国的な傾向であります。そのような中、今年度も315名を採用させていただきました。今は定年延長もありますし、採用数も減ると思われましたが、教科担任制や35人学級、特別支援学級や特別支援学校の生徒は増えている等色々な要素がありまして、様々なことを考慮して採用数を決定していくこととなります。その中で、受験者を集めたいということで、今後も大学へ伺って説明会をさせていただきますし、今回受験年齢を延長したことで二十数名の方が増えています。また、今後どうなるか分かりませんが、合格発表の前倒しによる影響も見ながら、今後また検討していきたいと思っております。

(新屋委員)

年齢制限を上げたとのことですが、最高齢の方は何歳ですか。また、倍率が下がり、再受験の方が合格しやすくなっているのではないかとと思いますが、最近は何れくらいの回数で合格していますか。

(高倉教職員課長)

データを持ち合わせていませんが、感覚的には2～3回かと思っております。

(北野教育長)

最高齢の方の年齢については個別に回答させていただければと思います。

(新屋委員)

倍率が下がると教員のレベルが低下することが一般には心配されると思います。いしかわ師範塾で即戦力となるように取り組まれていると思いますが、各学校現場の管理職の方はどのように受け止めていますか。

(高倉教職員課長)

いしかわ師範塾により、採用前に鍛えられた先生がたくさんいます。ですので、現場の評判はいいと聞いております。特に、今の若手の方はICT機器の扱いに長けた方が多く、助かっているという話を聞いている一面、得意分野でない部分は思うようにいかず困っているという話を聞くこともあります。

## 報告第3号 いしかわ産業教育フェア2023の概要について（北島学校指導課長説明）

報告事項「いしかわ産業教育フェア2023の概要」についてご説明いたします。

「1 目的」については、産業教育を学ぶ高校生に誇りと自信を持たせ、その情報を発信する好機とするとともに、一般県民や中学生等に産業教育の魅力を伝えることを狙いとしています。

「2 開催日時」は、10月28日（土）、「3 会場」は、専門高校等の取組を今まで以上にアピールするため、これまでの産業展示館から変更し、今年度はイオンモール白山で行うこととしております。

「5 フェアの概要」をご覧ください。10：20からのオープニングセレモニーにおいて、金沢商業高校チアリーディング部がパフォーマンスを披露します。

その後、10：30から開会式を行い、式が終了次第、企画内容にあります、各エリアに分かれて、発表、展示、体験、販売などを行い、16：20から閉会式を行う予定です。

続いて、会場内の配置についてご説明します。お手元のA3版の資料をご覧ください。

それでは、会場内の1階で行われるエリアごとの主な企画内容をもう少し詳しく説明いたします。

最初に資料の左側にあります「ステージ・発表エリア」と「展示エリア①」についてです。ここでは、オープニングセレモニーや開会式・閉会式を始め、各専門部会の研究成果発表会、また、「専門高校等における産学連携人材育成事業」の実践報告を行います。

次に、資料の左下に記載しました「体験エリア①・②」をご覧ください。1階の中央部になります。

ここでは、キッズビジネスタウンとして、高校生のコーディネートのもと、小学生を対象に、イオンモール白山にある協力店舗の仕事を模擬的に体験する場を提供します。

また、各専門部会体験ブースでは、水産部会のロープワーク体験や福祉部会のハンドケア体験など、各分野の特徴を活かした内容を来場者に体験してもらうことで、各専門高校の特色を理解していただきます。

次に、資料の右側の中程にあります「体験エリア③」についてです。このエリアでは取組を2つ行います。

1つ目は、高等学校ロボット競技大会石川県大会に出場したロボットによるデモンストラーションです。工業系高校の技術の高さを来場者に理解していただきます。

2つ目は、中学生が持ち寄ったコマで、競技会を開催します。このコマは、今年度、工業系高校6校が取り組んだ、「ものづくり高校の魅力発信強化事業」の「ものづくり体験」で中学生たちが自身で制作したコマを利用します。最後に、資料の右上の「販売エリア」についてです。生徒が育てた農産物や、考案した商品を実習も兼ねて生徒が販売いたします。

なお、お手元のチラシは、近隣の中学生に対して、PR用に作成、配布しているものです。当日は中学生にも積極的に参加していただき、専門高校の魅力をしっかりとアピールできるような運営に努めてまいりたいと考えています。

委員の皆様にはすでにご案内させていただいております。ご多忙とは存じますが、是非、ご来場いただければ幸いです。

**【質疑】**

(新屋委員)

中学生へのPRは県全域にしているのですか。

(北島学校指導課長)

金沢市、白山市、野々市市の中学校にはチラシとポスターにより案内しております。

(北野教育長)

以降の審議は非公開となるため、傍聴人の退席を促す。

議案第 27 号 令和 5 年度石川県優秀教職員の決定について（高倉教職員課長説明）

高倉教職員課長が説明し、採択の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

報告第 1 号 令和 5 年度いしかわマスター教員の認定について（高倉教職員課長説明）

高倉教職員課長が説明した。

- ・ 閉会宣言

北野教育長が閉会を告げる。